

第2学年 国語科学習指導案

日時 平成17年10月12日(水) 授業2
学級 2年1組男子16名女子17名 計33名
場所 2年3組教室
授業者 講師 高橋 正子

1 単元名 だいじなところに気をつけて読もう「サンゴの海の生きものたち」(光村図書)

2 単元について

(1) 教材観

第2学年における「C読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」ことである。第1学年及び第2学年の読みの力は、書かれていることの大体をとらえることが基礎となる。そのためには、まず順序に従って内容を押さえたり、場面の様子に気付きながら読み取ったりすることが必要である。これを受けて、本単元の目標を「海の生き物たちがどのようにかかわり合っているのかの様子を想像しながら読み取り、共生の仕組みの不思議に興味をもつとともにいろいろな海の生き物について調べ、生き物カードを作って交流することができる。」と設定した。

本教材の文章に出てくるサンゴの海にすむ生き物を自然の中で目にしたことのある児童も少数であると思われる。しかし、本教材で扱われている魚やイソギンチャクを、水族館や図鑑などで見たことのある児童はいるはずである。また、近年アニメや映画で海に住む生き物たちに親しみをもっている児童も多い。その意味で本教材は、児童の日常から離れた世界のことであるが、多くの児童が親しみをもつ可能性は高い。

本教材は、これまでに読んできた説明文に比べ、説明がやや複雑になっている。説明に登場する生き物の数も多い。生き物相互の関係も、「共生」という内容的にやや難解な要素を含んでいる。その理解をより容易にするために、「初め」の記述が役に立つ。第1段落の「たがいに、やくに立つようにかかわり合って」である。それが典型的な共生関係(相利共生)である。その記述に着目できれば、中心となる生き物と、その関係性は理解しやすい。そこで、文章に出てくる生き物のうちで、何と何が主要なものなのかを見分けることが必要となる。そのために「初め・中・終わり」の中の「初め」の記述を丁寧に読むことで、読み進める際の方向付けができると思う。

イソギンチャクとクマノミ、ホンソメワケベラと大きな魚がお互いに守り合ったり、助け合ったりしながら共生の世界が生き物の中にあることを知り、知識を獲得したり、読解力をつけたりするだけでなく、読むことを通して、心情的にも豊かになる教材である。

(2) 児童観

児童の『言葉への関心』は高い。説明文教材では、第2学年になって「たんぼぼのちえ」を学習した。時間的経過を表す言葉を基に段落分けをし、植物の種の保存の知恵を読み進め、未知のことを知る喜びを味わってきている。その際には、文末表現に気をつけたり、擬人化した表現を見つけたりするなかで、内容の大体を読み取る方法を学習した。実際にたんぼぼを観察して、読み取ったことを確認したり、新たな発見をしたりする児童も見られた。

しかし、『豊かに読み取る力』は、個人差が大きい。読み取った内容を理解して想像することができない児童も多い。また、時間的順序とその様子に関連付けながら読むことが苦手な児童もいる。そのため、挿絵を活用し、挿絵と時間を表す言葉を関連させて読み取ったり、挿絵から読み取ったことを想像させたりするようにしてきた。また、友達の考えのよさに触れることができるよう、相互評価を行ってきた。

挿絵や写真を活用しながら叙述に即して読む力を育てることにより、新しい発見をする喜びや楽しさを知り、自ら進んで説明文を読もうとする児童を育てたい。

(3) 指導観

指導にあたっては、まず教科書の写真を提示し、海の生き物たちへの興味をもたせたい。そして、それぞれの生き物がしていることを写真と対応させながら読み取り、ワークシートにまとめさせるようにする。また、写真から受ける印象と実際との関係が違ふことを示唆する文「でも、～ではありません。」を取り上げ、生き物の共生の関係に気付かせるようにする。その際に写真の活用により想像を広げさせ、動作化を取り入れるなど、叙述に即して正確に読み取ることの大切さを指導していく。さらに読み取りをもとにそれぞれの生き物になりきってお礼の手紙を書かせることにより、自分の生きるための知恵が相手のためになっているという自然の世界の共生の不思議さやすばらしさを味わわせるようにしたい。

「サンゴの海の生きものたち」の読み取りの学習を行った後、児童一人一人が生き物カードを作り、みんなのカードを合わせて『海の生きもの図鑑』を作るチャレンジ学習を通して、新たな発見や共感の喜びを体験させたい。

3 単元の目標と評価規準

	目 標	評価規準
国語への関心・意欲・態度	海の生きものについての読み物に興味をもち、図書館などの本から図鑑に必要な資料を探して読もうとする。	・「サンゴの海の生きものたち」を共生の仕組みの不思議に興味をもち、進んで読もうとしている。 ・他の海の生き物たちに興味をもち、図鑑作りのために進んで調べようとしている。
読むこと的能力	「サンゴの海の生きものたち」が互いに役立っていることを、事柄の順序を考えながら読み取ることができる。 登場した生き物になりきって、かかわり合っている生き物にお礼の手紙を書くことができる。 語や文のまとめ、内容、言葉の響きなどについて考えながら声に出して読むことができる。	・生き物同士のかかわり合いについて、説明の順序に気をつけて内容の大体を読んでいる。 ・生き物になりきって、お礼の手紙を書いている。 ・4つの意味段落と、かかわり合いをもっている生き物に気をつけ、声に出して読んでいる。
書くこと的能力	図書館などの本を読んで、「生きものカード」を作ることができる。	・自分で探した海の生き物の資料から必要な事柄を見つけ、自分の言葉で「生きものカード」に表している。
言語事項	片仮名を読んだり書いたりし、片仮名で書く語を文や文章の中で使うことができる。	・片仮名で書く語がどのような種類の語であるかに気付きながら正しく読んだり書いたりしている。

4 単元の指導・評価計画（10時間扱い）

段 階	時 間	目 標	主 な 学 習 活 動 ...学習課題 ...主な支援の手立て	評価規準 【評価の観点】 (評価方法)	具体的評価規準		努力を要すると判断された児童への具体的な手立て
					A:十分満足できると判断する視点	B:概ね満足できると判断する視点	
とらえらる	1	「サンゴの海の生きものたち」を読み、自分の知らない世界に興味をもつことができる。	みんなで「海の生きものずかん」をつくるためにこれからどんなべんきょうをしていくかを知ろう。 ・写真を見て海の中の想像を膨らませる。 ・範読を聞き、音読をして初発の感想をまとめる。 ・学習のめあてを確認する。 驚いたことや不思議だったこと、分からなかったことなどを自由に発表できるようにする。	写真から想像を広げ、海の生き物について興味をもって読もうとしている。 【関心・意欲・態度】(発言・観察・ノート・振り返りカード)	興味をもって文章を読み、文章の内容の大体をとらえながら、驚いたことや不思議に思ったことなどをもとに初発の感想を書こうとしている。	興味をもつて文章を読み、驚いたことや不思議に思ったことなどをもとに初発の感想を書こうとしている。	友達の発表を参考に、どんなことを書いたらいいかを考えさせる。
	2		出てきた生き物を確認する。 ・文章の構成をおおまかにとらえる。 ・文脈の流れに沿って新出漢字や片仮名、語句の意味の学習をする。 出てきた生き物にサイドラインを引きながら読むようにさせる。 片仮名で表記する言葉に触れ、正しく読んだり書いたりするようにさせる。	出てきた生き物に気をつけながら、文章全体の構成をおおまかにつかんでいる。 【読むこと】 【言語事項】(発表・観察・ノート)	「サンゴの海の生きものたち」に出てきた生き物を確認し、4つの意味段落に気付いている。	サイドラインを引きながら、「サンゴの海の生きものたち」に出てきた生き物を確かめようとしている。	教師の範読を追い、音読させながら、どんな生き物が出てきたかを確かめさせる。
たしかめらる	3 4	イソギンチャクとクマノミのかかわり合いを読み取るこ	イソギンチャクとクマノミはどんなにかかわり合いをしているのだろう。 ・イソギンチャクとクマノミの体の仕組みを読み取る。 ・イソギンチャクとクマノミが、それぞれ	イソギンチャクとクマノミの体の仕組みや互いにしていることを叙述	イソギンチャクとクマノミの体の仕組みや、していることの大體を読み取	イソギンチャクとクマノミの体の仕組みや、互いにしていること	イソギンチャクとクマノミの様子や行動について書か

・ ふ か め る	とができ る。	していることをまとめる。 イソギンチャクにとっていいこと、クマ ノミにとっていいことをそれぞれ考えさ せる。	に即して正確 に読み取って いる。【読むこ と】(発言・ワー クシート)	り、自分なりの 感想をもって る。	の大体を読み 取っている。	れている部 分にサイド ラインを引 かせる。
		・前時のイソギンチャクとクマノミがして いることについて振り返る。 ・イソギンチャクとクマノミになって、お 礼の手紙を書く。 ・手紙を発表し合う。 ・イソギンチャクとクマノミのかかわり合 いについてまとめる。 お手紙を書くことにより、イソギンチャ クとクマノミが互いに守り合っている関 係であることに気付かせる。	イソギンチャ クとクマノミに なってお礼の 手紙を書き、 互いに守り合 うというかか わり合いを読 み取っている。 【読むこと】 (観察・発言・ ワークシート)	お礼の手紙を 書き、イソギン チャクとクマノ ミのかかわり合 いを読み取り、 守り合うという 関係を理解して いる。	お礼の手紙 を書き、イソ ギンチャクと クマノミのか かわり合いを 読み取ってい る。	文章に即 して動作化 させ、内容 の読み取り をしっかりと させる。
5 6 本 時 (2/2)	ホンソメワ ・ケベラと大 きな魚のか かわり合い を読み取る ことができ る。	ホンソメワケベラが大きな魚はどんなか かわり合いをしているのだろう。 ・ホンソメワケベラの体の特徴を読み取る。 ・ホンソメワケベラと大きな魚が、それぞ れしていることをまとめる。 ・大きな魚になってお礼の手紙を書く。 ホンソメワケベラにとっていいこと、大 きな魚にとっていいことをそれぞれ考え させる。	ホンソメワケ ベラの体の特 徴とホンソメワ ケベラと大きな 魚が互いにし ていることを 叙述に即して 正確に読み取 っている。【読 むこと】(観察・ ワークシート)	ホンソメワケ ベラの体の特徴 やホンソメワケ ベラと大きな魚 が互いにしてい ることの大体を 読み取り、自分 なりの感想をも っている。	ホンソメワ ケベラの体の 特徴やホンソ メワケベラと 大きな魚が互 い互いにしてい ることの大体 を読み取って いる。	ホンソメ ワケベラと 大きな魚の 様子や行動 について書 かれている 部分にサイ ドラインを 引かせる。
		・前時のホンソメワケベラと大きな魚のし ていること、大きな魚の手紙の内容につ いて振り返る。 ・ホンソメワケベラになって、手紙の返事 を考える。 ・ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり 合いについてまとめる。 大きな魚への返事を書くことにより、ホ ンソメワケベラと大きな魚が互いに助け 合っている関係であることに気付かせ る。	ホンソメワケ ベラと大きな魚 のかかわり合 いを基にお礼 の手紙を書く ことによって、 共生の関係を 読み取ってい る。【読むこと】 (観察・発言・ ワークシート)	お礼の手紙を 書き、ホンソメ ワケベラと大き な魚のかかわり 合いを読み取 り、共生関係に ついて考えてい る。	お礼の手紙 を書き、ホン ソメワケベラ と大きな魚の かかわり合い を読み取って いる。	相手の魚 がしている ことは何か を見つけさ せるように する。
ま と め る ・ チ ャ ひ ろ げ る	7 生き物カー ドにまとめ たい海の生 き物の本を 選ぶことが できる。	みんなで「海の生きものずかん」をつく ろう。 ・図書館などから海の生き物について書か れている本を探す。 ・カードの書き方を知る。 本を選ぶにあたっては、漢字に仮名が振ってあ るものや内容が平易で2年生でも読めるものを 教師側で準備し児童が常時読めるようにコーナ ーを設置しておくようにする。	自分が『生 きものカード』 にまとめたい 海の生き物を 見つけようと している。 【関心・意欲・ 態度】(発言・ 観察・振り返 りカード)	海の生き物に 興味をもち、進 んでいろいろな 本を読みながら 自分がカードに まとめたい海の 生き物を見つけ ようとしてい る。	いろいろな 本を読みなが ら自分がカー ドにまとめたい 海の生き物 を見つけよう としている。	内容の読 み取りが平 易な本を数 冊教師側が 用意し、そ の中から選 ばせるよう にする。
	本を読んで 初めて知っ	・教科書に出てきた海の生き物について振 り返る。	図書を読ん で生き物の特	生き物の特徴 や秘密、共生な	生き物の特 徴や秘密など	教師とと もに図書を

た し か り 読 み め る 10 分	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習範囲を音読する。 ・ホンソメワケベラと大きな魚の特徴を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・形式段落 ~ を指名音読させる。 ・前時に学習したことをワークシートで確認し、手紙を書く際の手がかりとなるようにする。 ・手紙を書く際に、大きな魚がしていることを教材文から見つけさせるようにする。 									
	35 学 分 び 合 い 15 分	<p>3 自分の力で学習課題の解決を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホンソメワケベラになって手紙を書く。 <p>4 自分の考えを発表し、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手紙を発表する。 <p>〔評価規準Bの例〕</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>大きな魚さんへ きみの体についた虫を食べさせてくれてありがとう。ぼくもおそうじをがんばるよ。 ホンソメワケベラより</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価規準】(読むこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いを基にお礼の手紙を書くことによって、共生の関係を読み取っている。 <p>(学習シート・発表)</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">具体的評価規準</th> <th rowspan="2">努力を要すると判断された児童への具体的な手立て</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>お礼の手紙を書き、それぞれが役に立っていることを読み取っている。</td> <td>お礼の手紙を書き、ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いを読み取っている。</td> <td>相手の魚がしていることは何かを見つけてさせるようにする。</td> </tr> </tbody> </table>	具体的評価規準		努力を要すると判断された児童への具体的な手立て	A	B	お礼の手紙を書き、それぞれが役に立っていることを読み取っている。	お礼の手紙を書き、ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いを読み取っている。	相手の魚がしていることは何かを見つけてさせるようにする。
具体的評価規準		努力を要すると判断された児童への具体的な手立て									
A	B										
お礼の手紙を書き、それぞれが役に立っていることを読み取っている。	お礼の手紙を書き、ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いを読み取っている。	相手の魚がしていることは何かを見つけてさせるようにする。									
ま と め 7 分	<p>5 本時の学習範囲についてまとめの音読をする。</p> <p>6 本時の自己評価を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの魚がしていることに気をつけながら、指名音読させるようにする。 ・書いた手紙から、ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いを考え、端的な言葉で表すようにさせる。 ・本時の学習について振り返らせ、自己評価させる。 ・次時の課題を確認し、次の学習への意欲をもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の写真 ・自己評価カード 								

(4)板書計画

